

事務 事業名	コード1	0350	統計事務費	課	企画政策課		
	コード2		統計あさひ(ポケット版含む)の評価 <input type="checkbox"/> 主要事業	所属班	統計班		
政策 体系	基本方針	-	対象外	電話番号	62-5397	内線	233
	施策	-	対象外	予算	会計		
	施策の展開	-	対象外	科目	一般会計		
	基本事業	999	基本施策に位置付かない事業		根拠 法令	特になし	
	款				02	05	01

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 4 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	旭市の人口・産業・教育・文化などの現状や推移を表やグラフでまとめることで市の状態を把握し、また様々な計画立案や研究に利用される基礎資料として提供する。 統計あさひは200部、統計あさひポケット版は1,800部作成している。 【業務の流れ】 関係機関より最新のデータの提供 → データの編集、校正 → 印刷製本

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
H23 印刷製本費 126,630円	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
通信運搬費(郵送料) 3,307円	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
H24 印刷製本費 148,680円	地方債	千円	0	0	0	0		
通信運搬費(郵送料) 17,000円	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	186	127	131	166		
② 延べ業務時間の内訳	事業費計(A)	千円	186	127	131	166	0	0
およそ20日×8時間=およそ160時間	正規職員従事人数	人	0.08	0.08	0.08	0.08		
	延べ業務時間	時間	160	160	160	160		
	人件費計(B)	千円	608	608	608	608	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	794	735	739	774	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 統計あさひ 200部 統計あさひポケット版 1,800部 情報提供企業、行政機関等へ配布、希望者へ販売およびホームページへの掲載。	ア 調査項目数(大分類)	個	123	123	122	122		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 統計あさひ 200部 統計あさひポケット版 1,800部 各機関等へ配布、希望者へ販売およびHP掲載。	イ 発行部数 ※()内はポケット版	部	200 (1800)	200 (1800)	200 (1800)	30		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	統計情報を必要とする市民・市外住民、行政機関、民間企業	ア							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
市における人口、産業、経済、文化等の情報を収集、集計し結果を提供することで、誰でも閲覧できる。また、計画の立案に利用される。	ア ホームページの総計情報へのアクセス数 ()	件			7月～ 3月 1,035	4月のみ 117			
	イ 配布数 ※()内はポケット版 ()	部	140 (1,800)	134 (1,800)	137 (1,800)	30			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市役所も含め、様々な機関が諸施策の計画づくりに、また学術研究の基礎資料として利用する。	ア ホームページにおける掲載情報の満足度 ()							
		イ ()							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
様々な行政データや市の状況を1冊にまとめることで、必要とするデータを利用しやすくする。また、市勢の記録にもなる。	情報化の進行により市民がインターネットを閲覧できる環境が広がり、国・市のホームページに掲載している統計情報がいつでも閲覧することができるようになった。	各課よりデータの提供を受ける際、掲載項目の追加や修正等の依頼がある。

事務事業名	統計事務費 統計あさひ(ポケット版含む)の評価	課名	企画政策課	班名	統計班
-------	----------------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ 発行の際、時代のニーズに合うように調査項目を見直すようにしている。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 誰でも自由に統計情報を閲覧することができる。
有効性 評価	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 市勢を知るための基礎資料として、また市の人口、産業、文化等各分野の資料を歴史的に記録・保持していくためにも必要である。
	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 千葉県統計年鑑を参考に作成し、近隣市の統計書と比較して掲載している調査項目も同程度である。
効率性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ データ提供機関と調整し、利用者のニーズに応じ項目の追加・修正をすることで、基礎資料としての内容の充実を図る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 民間を含め、類似事業を行っている機関がないため。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 配布先を検討し、印刷部数を削減する。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 民間委託するほどの事業でもなく、現状で最小限の事務量となっている。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 誰でも自由に統計情報を閲覧し、利用できるようになっている。	

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	継続をもって作成しているが、古いデータ部分の見直しは必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 継続的に掲載内容の見直しを図り、利用者にとってわかりやすい統計表の作成・誌面構成にする。																							
②																							
③																							
④																							